

いざ、魔港人の決着をつける闘いへ！

——3.30をはるかにこえる熱気と大結集 勝ち取る——

5.25三里塚 現地集会

日刊 勤労千葉

80.5.26
NO. 438

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
電話二二五八〇九（公巻品三三二七二〇七）

『勤労千葉への不当処分策動粉碎を特別決議』



勤労千葉は、300名の大部隊で登場した
——5.25三里塚カー公園——

「燃料を断つ」闘いを全面的におし進め、今こそ魔港にむけ決着をつける。

集会は、12時20分、青行隊の相川、熱田両氏を司会に、内田行動隊長の南会宣言ではじまり、石橋委員長代行の主催者あいさつに続いて北原事務局長より次のような基調報告が行われた。

- ① 政府・公団は反対同盟に対する懐柔策動、二期強行の構えを示している。
- ② 二期阻止にむけ「燃料を断つ」闘いを強化する。
- ③ 勤労千葉への不当処分策動を絶対に許さない。
- ④ 関西新空港建設反対の闘いを強化する。
- ⑤ 三里塚空港粉砕全国百万人署名運動強化。
- ⑥ 韓国・光州での労仲者・学生・人民の英雄的決起に連帯する道は、我々が三里塚で勝利し日本支配者階級の朝鮮侵略・軍事大國化への道を粉砕することだ。
- ⑦ その他の公判闘争、回差別撤廃、革マル弾劾一掃、回沖繩との連帯強化。

「勤労千葉への不当処分策動を弾劾・粉砕する特別決議を満場の拍手で採択！」

つづいて勤労千葉を代表して奥川委員長、全関西実行委、日本原、北富士、沖繩、パイプライン埋設阻止千葉県女闘会議、部落解放同盟、全障連など全国住民団体等からの決意表明、また柏原原義な

5.25三里塚空港粉砕現地総決起集会は、三里塚カー公園において全国から八千六百余名の大結集をもって、二期工事阻止「空港魔港へむけて圧倒的にかちとられた。勤労千葉は職場からの活性化を反映し一昨年9月闘争につぐ史上二番目の動員結集「三百名の部隊登場を遂に実現し、国鉄当局「本部」革マル反動分子一体となった不当処分策動粉砕三里塚総決起への底しれぬ大きな力を結集した闘いとして、終始集会「示毛をけん引し最後まで闘いぬいた。反対同盟を先頭に、全国の闘う部隊が、勤労千葉と共に「不当処分粉砕」六月総決起を怒りにもえて確認した。

ごよりのメッセージも紹介された。今集会の重要な柱として、反対同盟から、国鉄当局・革マル一体となった勤労千葉への一切の不当処分策動をただちにやめよ！との「特別決議」が怒りをもって提案され、満場の圧倒的拍手で採択された。

反対同盟各部落からつぎつぎと決意表明

全国家族会、弁護団報告ののち、敷地内天神峰・東峰・木の根をはじめとする反対同盟の各学区地区部落代表から、それぞれ二期工事阻止「魔港への力強い決意表明がなされた。最後に青行隊の石毛氏より「百万人署名達成」積極的全国交流など夏から秋へかけての方針提起がなされ、集会宣言、スロガン採択ののち、16時より元モ行進にうつった。

5.25闘争を勝利した力で、いざ、不当処分策動粉砕六月決戦へなげうって突入しよう

「4.15」を口実とする選別的不当処分策動への怒りの声は、職場のみならず全社会に大きく拡がりはじめた。反対同盟と支援諸団体は5月27日対当局弾劾闘争と千葉駅前大抗議宣伝活動に入ることとを決定し、発表した。わいわいは、当局・革マル一体となつたいかなる破壊策動をも粉砕し、6月決戦体制にむけ一丸となつて突入しよう